



発行所
明野駐屯地
広報班



陸上自衛隊航空学校
最先任上級曹長
准 陸 尉

松崎 俊喜

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。一昨年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いていますがワクチン等のおかげで感染拡大を一時的に防止できている状況です。陸上自衛隊においては、コロナ禍の制約を受ける中での各種任務・教育訓練を確

実に実施し、練度の維持・向上に努めていかなくはなりません。新規変異株にも対応できるよう、感染症対策をマンネリ化せず、これまでと同様の対策をしっかりと実施して、乗り越えていきましょう。最後にになりましたが、皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



陸上自衛隊航空学校長
兼明野駐屯地司令
陸 将 補

安井 寛

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年中は一昨年に引き続き、コロナ禍の影響により、皆様との交流も非常に限定されたものとなり、大変残念に思っています。そういった中においても、明野駐屯地に対して、様々な御協力や御支援を頂き、謹んで感謝を申し上げます。

本年も極めて厳しい安全保障環境が続くことが見通されており、明野駐屯地隊員一同、あらゆる事態に即応し任務を完遂できるよう奮励努力していく所存です。皆様にとつて、本年が素晴らしい年となりますよう祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

恭賀新年

協 力 会 会 長



三重県隊友会 会長

三石 浩夫

謹んで新春をお祝い申し上げます。安井寛航空学校長をはじめ明野駐屯地の皆様には、伝統に輝くこの明野の地で、国の防衛という崇高な任務達成のため、一致団結、日々厳しい訓練等に精進されておられることに対しまして感謝と御礼を申し上げます。今年もコロナウイルスに対する配慮は欠かせない日々が続くと思いますが、今まで以上に陸上航空は離島を含む列島南北を空中機動力により即応機動しつつ精強性を誇示することが求められております。より精強な部隊員となるべく一層のご努力をお願い致します。私たちが隊友会は「自衛隊と国民の架け橋」となることを指標として各種事業等を積極的に推進してまいりますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。隊員及びご家族の皆様方のご健勝とご多幸を祈念し年頭のご挨拶と致します。



三重県家族会 会長

本多 豊

新年あけましておめでとうございます。明野駐屯地の全隊員並びにご家族の皆様におかれましては、晴れやかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。令和2年3年度と、コロナウイルスの流行により、いろいろな障害が発生し自衛隊家族会の活動もままならない状況が続いていました。

東京オリンピックでは、三重県出身の自衛官山田選手が金メダルを獲得し力強い期待を感じています。

本年度は、心機一転私も自衛隊家族会会員一同コロナ禍に打ち勝ち隊員の皆様へのご支援・ご協力を微力ではございますがして参ります。皆様方のご健勝ご活躍を祈念して年頭のご挨拶とさせていただきます。



南勢防衛協会 会長

山野 稔

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。さて、わが国を取り巻く安全保障環境は、厳しい現実と直面しており、国民の自衛隊に対する信頼と期待は一段と高まっております。私共、地元協力団体といたしましても一層の組織拡大を図り、国民一人一人が自らの国を守るという防衛思想の普及活動と、自衛隊の皆様がよりスムーズに任務の遂行を頂けるよう、精一杯、支援・協力を申し上げます。



伊勢ポリウム会 会長

橋本 和久

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨今、日本国内外を取り巻く情勢が目まぐるしく変化する中で、隊員の皆様日々遂行されている任務の重要性は益々高まっておりますと存じます。

私ども伊勢ポリウム会といたしましても、協力団体として、隊員の皆様日々遂行されている任務やご活動に対し、出来る限りの支援をして参りたいと存じます。

結びにあたり、航空学校並びに明野駐屯地の益々の御隆盛と、隊員の皆様をはじめご家族の方々のご多幸とご健勝を心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



度会町自衛隊協力会 会長

濱岡 裕之

謹んで新春のお祝いを申し上げます。コロナ感染者数も国内で減少傾向にある中、又年末には新たに厄介な変異株の急拡大が懸念されております。

このような地球規模での危機の中であっても近隣の中国は自国利益の身勝手な覇権主義を進めており、我が国の脅威は日々増大しております。

日本の日常の平和と安全、財産や資源を守っていただく最後の砦の全自衛官の皆様には心より敬意と感謝を表します。

本年も航空学校並びに明野駐屯地の益々の御隆盛と皆様方のご健勝と弥栄をご祈念申し上げます。



僚友会 会長

野口 好子

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

新型コロナ禍で、諸活動、また日常生活が大きく制限され、人と人との繋がり、ふれあいが厳しい中、私たちが明るく活動できるよう工夫し、共有できるように、皆様と一丸となって取り組んで参りたく存じます。

皆様におかれましては、安全確実に任務を遂行され、国民の安全の為の活動に専念できるように、自衛隊と市民との懸け橋となり支援、協力して参る所存でございます。

素晴らしい年となることをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



明野 O B 会 会長
黒田 十三郎

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族共々お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの世界的流行は依然として先行き不透明で、我が国を取り巻く環境も年々厳しさを増してきておりますが、今年も駐屯地の皆様が現下の情勢に対応して、あらゆる困難を克服され、安全確実に任務を遂行されますことを願っております。コロナ感染の一日も早い収束と皆様方のご多幸を心よりお祈り申し上げます。



やまびこ会 会長
中川 卓郎

新年あけましておめでとうございます。明野駐屯地の隊員の皆様並びに御家族の皆様にはコロナ禍で一昨年より自粛生活が続く中、健やかに新しい年をお迎えのことと御推察申し上げます。隊員の皆様においてコロナの集団接種、災害出動の支援活動等により国民をお守りくださり有難うございます。

緊急事態宣言も明け、落ち着いていますが、なお第6波も心配されます。また何処で災害や緊急事態が起こるかもしれない中、新しい任務も増えることから、なお一層の自衛隊への必要性、重要性が高まっております。また御家族の皆様にも御苦労をおかけしておりますが、協力会の一員として旧に倍ましてご支援申し上げます。御教示賜りますので、今後ともより一層の御教示賜りますようお願い申し上げます。結びにお祝い申し上げます。地益の御発展と、航空学校並びに明野駐屯健勝御多幸をお祈り申し上げます。

駐 屯 部 隊 長



飛行実験隊長
1等陸佐
横山 純一

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては夢と希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

飛行実験隊は昨年、皆様のお力添えを頂き、創隊20周年の節目にあたる年にUH-2及びV-22の試験を完遂しました。今年も、積極的に2機種の実験に寄与するとともに、OH-1恒久対策エンジンの試験に着手する等、更なる航空機の充実・近代化に向け、隊員一丸となつて「先駆躍進、部隊のため」に「全力で取り組んでいく所存」ですので、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第5対戦車
ヘリコプター隊長
2等陸佐
永岡 健義

新年明けましておめでとうございます。

明野駐屯地及び協力団体の皆様におかれましては、素晴らしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。昨年は皆様のご協力・ご支援のおかげで、多大なる成果を得ることができました。引き続き、航空安全を確保し、隊員一丸となつて、皆様から信頼される、頼もしい部隊を目指し精進して参りますので、本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第10飛行隊長
2等陸佐
新岡 賢嗣

明けましておめでとうございます。コロナの脅威も少しずつ落ち着きを見せ、皆様におかれましては輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

第10飛行隊は、駐屯地のみならず、皆様の暖かいご支援・協力を頂き、令和4年1月18日に創隊60周年を迎えることとなります。本年も、各種任務に即応し、安全かつ確実に完遂し得るよう日々精進いたしますので、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



中部方面
管制気象隊長
第1派遣隊長
3等陸佐
川上 義弘

新年明けましておめでとうございます。明野駐屯地の皆様には、幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年もコロナによる非戦闘損耗を避け、着実に練度の向上が図れるよう、各種訓練及び飛行場勤務を実施し、「駐屯各飛行部隊の任務達成に最大限寄与できる第一派遣隊」を目標に部隊を統率し、航空安全の絶無に努めていくとともに、駐屯地協力団体等の皆様方から信頼される部隊を育成していく所存であります。本年もよろしくお願い申し上げます。



第306基地通信中隊
明野派遣隊長
2等陸尉
南木 篤

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年はデジタル庁が新設、行政でのICT技術の活用が推進され、また防衛省においても効率的に任務を遂行するため各種システムが逐次刷新されています。便利になる反面、重要なのは高い知識（リテラシー）の保持です。基地通信隊もさらなる識能向上のため教育訓練にまい進していく所存です。本年も変わらぬご支援・ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



第107全般支援大隊
明野派遣隊長
3等陸尉
渡邊 邦明

新年あけましておめでとうございます。明野駐屯地の皆様、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

第107全般支援大隊整備中隊明野派遣隊は、駐屯地に唯一常駐する野整備部隊として、航空学校をはじめ被支援部隊に対して積極支援に努めるとともに、日々、整備技能を向上させ被支援部隊の任務完遂の一助となるよう精進して参ります。皆様方の今後益々のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

寅年生まれ (平成10年生) 新年の抱負



整備部 3等陸曹 永田 拓真

新しいことに挑戦し、自身自身を成長させていきます。



整備部 3等陸曹 平澤 英士

大きな怪我をしないように、安全第一で生活していきます。



整備部 陸士長 牧野 総一郎

去年以上に、安全には細心の注意を心がけて頑張ります。



教導隊 3等陸曹 町屋 雄太

周りの人達との関わりを大切にして、日々精進していきます。



教導隊 3等陸曹 齋藤 健太郎

常に目標を立てて、その目標達成に向けて努力します。



5対戦 3等陸曹 村上 順宥

雨ニモ負ケズ、風ニモ負ケズ、厄年にも負けずに頑張ります。



5対戦 3等陸曹 門 直希

今年は何年男であり厄年でもあるので、事故等起こさぬ様過ごしたい。



5対戦 陸士長 南 洋希

心機一転、新しい事にもチャレンジし、仕事頑も張るぞお〜!



5対戦 陸士長 久保田 麗菜

充実した1年になるよう様々な事にチャレンジして頑張ります。



管気1派 3等陸曹 多田 尚史

何事にもトラわれず、色々な事にトラういて行きたいです。



10飛隊 3等陸曹 星 愛斗

「年男として、飛躍の年に!」



航空学校

年頭行事



航空学校は、令和4年1月11日に年頭の安全行事、13日に年頭の編隊飛行訓練を実施しました。

年頭の安全行事では、航空学校長及び各部室隊長が新年の抱負を語った後、今年一年の安全祈願を事故の絶無を誓い、だるまの目入れをしました。

年頭の編隊飛行では、コロナ禍による気疲れを払拭させる見事な編隊飛行に隊員は手を振って見送り、令和4年の航空安全確保の決意を新たにしました。

また、編隊飛行の様子は、明野駐屯地の公式SNS(ツイッター、フェイスブック及びユーチューブ)で動画を公開しておりますので、是非ご覧ください。

年頭の安全祈願



飛行編隊年頭



成人行事

CH47牽引



明野駐屯地は令和4年1月17日、駐屯地成人祝賀行事を行いました。今年度は18名の隊員が成人を迎え、恒例の「CH47牽引」では、新成人が一人づつ書初めを表示して成人としての抱負を駐屯地協力会の方々及び駐屯地隊員の前で宣言し、約15トンあるCH47Jを力強く牽引しました。

成人の抱負



駐屯地追悼式

航空学校は令和3年11月7日、令和3年度航空学校追悼式を行いました。

追悼式には、殉職隊員遺族、明野忠魂塔顕彰会をはじめ、航空学校及び駐屯地所属隊員が参列し、御霊への拝礼、黙祷の後、航空学校長兼明野駐屯地司令 安井寛陸将補及び明野忠魂塔顕彰会会長 梶原久生会長の追悼の辞、献花、最後に儀じよう隊の弔銃により厳かに式を執り行い、国家防衛のために殉職者された英霊に敬意と追悼の意を捧げました。

拝礼



追悼の辞



献花



弔銃



感謝状贈呈式及び記念訓示

明野駐屯地は11月14日、感謝状贈呈式を行いました。今年度は、航空安全の確保、隊員の士気高揚等駐屯地へのご尽力に対し、2団体、4名の方々に駐屯地司令から感謝状を贈呈させていただきました。また、翌日15日は陸上自衛隊航空学校創立69周年にあたり記念訓示を行いました。航空学校長 安井陸将補は、現在の安全保障環境、将来の陸上航空の役割拡大を鑑み、強靱な陸上航空の創造、部隊の模範となる万全の航空安全確保について訓示し、隊員は、自らの責務について意識を新たにしました。

感謝状贈呈式



記念訓示



募集広報活動

(皇學館大學講義) (オンライン職業講話)



航空学校は、皇學館大學における陸上防衛力の講義を支援しました。講師として支援した航空学校副校長をはじめ、航空学校整備部長、

女性幹部自衛官の広報班長が、陸上自衛隊の存在意義、装備、組織等について講義するとともに、自身の体験も含め、様々な活躍の場がある陸上自衛隊の魅力発信しました。



副校長が熱く自衛隊をPR



整備部長



広報班長



第5対戦車ヘリコプター隊所属の隊員が、愛知県益富中学校が実施したオンライン職業講話に協力しました。

30分間の講話の中で、中学生からは「自衛官として必要な資質は」「給料・ボーナスは」「やりがい」等々真剣な質問が続き、隊員は少し難しい質問にも笑顔で答え、自衛官という職業にとっても魅力を感じてくれた様子でした。

リモートが発達した昨今、実際に現場で働く隊員がこのような形で職業説明ができ、効果的な募集広報活動をする事ができました。



公式SNSの紹介

明野駐屯地では、FacebookやTwitterの他、昨年11月から開始したYouTubeなど各種SNSを活用し、駐屯地の日常から各種訓練やイベント情報などを様々な情報発信を通して、皆さまの目に届くように発信しております。

明野駐屯地SNSは、日々の活動やイベントの様子をリアルタイムで発信しています。ぜひ、お楽しみください。

一部フォロワーからのコメント

- これから頑張ってください。近くで応援しています。
- コンテンツの編集が大変だと思いますが、頑張ってください。
- 動画なので、よく伝わってきます。

Twitter 

Facebook 

YouTube (令和3年11月開設) 

近年、SDGs「Sustainable Development Goals」(持続可能な開発目標)が世界的に注目を集めています。SDGsは、17の目標があり、その中でも「気候変動に関する国際協力の推進」(目標13)や「陸上生態系の保護、持続可能な利用の推進」(目標15)など、自衛隊の活動と密接に関連しています。

自衛隊は、国土の防衛と国民の安全を守るため、日々様々な任務を遂行しています。その中でも、環境保護や防災・減災活動など、SDGsの達成に貢献しています。

例えば、自衛隊は、森林の保全や、自然環境の調査など、環境保護に積極的に取り組んでいます。また、災害発生時には、迅速な対応と支援を行うことで、防災・減災活動に大きく貢献しています。

自衛隊は、SDGsの達成に向けて、今後も積極的に取り組んでまいります。ご期待ください。

企画室長 1等陸佐 米谷 知久

真珠抄 『社会人・自衛官』

部隊紹介

航空学校 研究部

航空学校研究部は、部長加藤1佐を核心として「厳しい任務を完遂し得る強靱な陸上自衛隊の創造に寄与するため、将来の情勢を見据えつつ、新たな領域における能力の拡充及び新たな部隊運用要領の創造等に資する職種運用研究を実施するとともに、新機種導入に伴う研究を着実に実施して戦力化を促進する。」の具現化のため、領域横断作戦における戦い方、指揮統制システムの導入、UAVとの連携要領等に係る研究、V-22、UH-2の教育訓練に関する研究や教範類の改正等を実施しています。

研究においては、各職種学校に協力する研究を合わせると年に約100件の研究を行っており、教育訓練研究本部や各職種学校と協力・調整し、将来の戦い方に寄与し得る陸上航空に資する研究を主として行うとともに、輸送航空隊、飛行教導隊、飛行実験隊等とも連携して、V-22やUH-2の戦力化、ドアガン射撃、キャスティング、発着艦等に関する研究を行っています。

また、昨年度においては、AH-64D射撃教育訓練基準に係る研究等を終了するとともに、陸上航空誌を電子版へ移行しました。今後も研究部一丸となり、航空科職種の発展に寄与できるところを調査研究に邁進していきます。



V-22における搭載・卸下



UH-2によるドアガン射撃



UAVによるAI動画収集支援



2次元偽装網による防護性の確認



UH-2のC-2への搭載性の確認

栄光の紹介

第86期陸曹上級航空機検査課程 首席賞
航空学校整備部 村上1曹



「日々、精進し、航空安全の確保に努めたいと思います。」

03陸演優秀隊員（侵入者確保としての功績）
航空学校整備部 部谷2曹



「今後も、不測事態に対し迅速に対応できるように勤務します。」

03陸演優秀隊員（整備派遣隊員としての功績）
航空学校整備部 宮崎2曹



「引き続き、野外整備に関する対応力を向上させられるよう精進します。」

03陸演優秀隊員（弾薬輸送隊員としての功績）
航空学校整備部 田村3曹



「引き続き、上司の意図を汲み取り、後輩隊員の指導に当たります。」

03陸演優秀隊員（通信無線手としての功績）
航空学校整備部 畑士長



「多くの人に支えられて頂いた賞です。これからも、一層精進し、任務に邁進して参ります。」

車両無事故走行2万キロ
第1教育部 山澤1曹



「今後も安全に留意し引き続き車両運行に努めます。」

第140期陸曹候補生課程 中隊長賞
飛行教導隊 藤野士長



「この賞に奢ることなく、更に精進していきます。」

航空無事故飛行1500時間
第5対戦車ヘリコプター隊 本田1尉



「感謝の気持ちを忘れず、航空安全を確保していきたいと思えます。」

車両無事故走行5万キロ
第5対戦車ヘリコプター隊 山口3曹



「引き続き継続して部隊に貢献します。目指せ10万キロ!!!」

車両無事故走行2万キロ
第5対戦車ヘリコプター隊 栗本3曹



「これからも基本基礎を大事にして、部隊の任務達成に貢献していきたいです。」

隊員自主募集
第5対戦車ヘリコプター隊 浦谷1尉



「引き続き、優秀な人材獲得に努めます。」

隊員自主募集
第5対戦車ヘリコプター隊 西村3尉



「共に働く仲間が増えて何よりです。これからも職務に邁進します。」

隊員自主募集
第5対戦車ヘリコプター隊 久我士長



「弟の勧誘に成功したので、次は甥の勧誘に努めます。」

隊員自主募集
第5対戦車ヘリコプター隊 真木1士



「引き続き、隊員自主募集、頑張ります。」

#8陸曹中級課程 中隊長賞
第5対戦車ヘリコプター隊 東2曹



「これからも日々練成に励みます。」

03陸演 方面隊最任上級曹長褒賞
第5対戦車ヘリコプター隊 廣3曹



「この賞に恥じないよう頑張りたいです。」

航空安全褒賞
第5対戦車ヘリコプター隊 松下3曹



「まるまる、もりもり、てかてか、かりかり、頑張ります。」